

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 1 日

奈良市長 殿

提出者

住所 〒630-0243

奈良県生駒市俵口町1524-1

氏名 株式会社ダイケン

代表取締役 早川 建次

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-63-1718



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ダイケン 中間処理センター
事業場の所在地	奈良市北之庄西町2丁目11-10
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) 解体業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 令和5年度 15,000万円
③ 従業員数	22 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	解体工事にて発生した建築廃材（廃プラスチック、金属くず、紙くず、繊維くず等）は再生利用処理業者に委託。木くずは再生利用処理業者に委託。ガラス・陶磁器くずは中間処理業者にて再生利用する。建設混合廃棄物は再生利用可能なものは再生業者へ委託し、再生不可能なものは管理型埋立最終処分になる。石綿含有のガレキ類は直接処分場へ持って行き 管理型埋立最終処分となる。

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

産業廃棄物の分別、分類の徹底 マニフェスト管理表により廃棄物の種類、量を把握する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ R5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排 出 量	202.20 t	32.30 t
	(これまでに実施した取組)		
	分別、減量化の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排 出 量	202.20 t	32.30 t
	(今後実施する予定の取組)		
	分別、減量化にさらなる努力を徹底指導		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分類、分別による再生利用、減量化に努力している
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類の細分別(コンガラ、石類、タイル類等) 紙類の細分別 プラスチック類の細分別(硬質、軟質等)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ R5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず [※]
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	28.0 t
	(これまでに実施した取組)		
	選別、分類の徹底		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0 t	28.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	選別、分類の徹底		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ R5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	選別、分類の徹底		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ R5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組)		
	該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ R5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	202.20 t	4.30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	184.60 t	4.30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	選別、分類の徹底		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	202.20 t	4.30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	184.60 t	4.30 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	分類、分別による再生利用、減量化に努力している		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	株式会社 ダイケン	担当者氏名	中原 廣伸
報告者所属部署		電話番号	0742-63-1718

産業廃棄物の種類		実績・計画	(第2面)		(第3面)			(第4面)	(委託先の区分ごとの処理委託量)				
			排出量	自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立又は海洋投入した量		全処理委託量 (自動計算)	(委託先の区分ごとの処理委託量)			
										優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者	認定業者以外の熱回収業者
1	廃プラスチック類	前年実績 計画	202.20t 202.20t						202.20t 202.20t		184.60t 184.60t		
2	紙くず	前年実績 計画	32.30t 32.30t	28.00t 28.00t					4.30t 4.30t		4.30t 4.30t		
3	金属くず	前年実績 計画	607.00t 607.00t	607.00t 607.00t					0.00t 0.00t				
4	木くず	前年実績 計画	1,421.80t 1,421.80t						1,421.80t 1,421.80t		1,421.80t 1,421.80t		
5	繊維くず	前年実績 計画	21.60t 21.60t						21.60t 21.60t		21.60t 21.60t		
6	ガラスくず等	前年実績 計画	441.00t 441.00t						441.00t 441.00t		377.50t 377.50t		
7	ガラスくず等 (廃石膏ボード)	前年実績 計画	145.70t 145.70t						145.70t 145.70t				
8	がれき類	前年実績 計画	340.80t 340.80t	24.78t 24.78t					316.02t 316.02t		316.02t 316.02t		
9	コンクリートガラ	前年実績 計画	4,975.70t 4,975.70t	132.36t 132.26t					4,843.34t 4,843.44t		4,843.34t 4,843.34t		
10	管理型混合廃棄物	前年実績 計画	2,655.30t 2,655.30t						2,655.30t 2,655.30t				
11	石綿含有・がれき類	前年実績 計画	158.10t 158.10t						158.10t 158.10t				

(別紙)